



10月

サンコー未来★夢通信

http://www.sankobussan.co.jp 2014・10 秋号 vol.21



チャレンジ 25



全員の結果を創る
大樹の経営実践部隊

第四回 「沖縄の街を守る会」に参加して 細川 三郎 平成26年9月27日～28日

目的 米軍関係基地周辺的美観がひどく損なわれているため、地元の「フェンスクリーンプロジェクト」、「ハートクリーンプロジェクト」の活動を続けている勇気ある有志の皆さんと一緒に美化に努めるとの思いで参加致しました
鍵山相談役の信念 「いかなる理由があろうとも街を汚す行動に正義はない」 この考えの元。

日本を美しくする会 相談役・鍵山秀三郎先生をはじめ、北は北海道から南は九州、鹿児島、沖縄の人々総勢60名で下記日程で開かれました。

9月27日(土) 第一日

辺野古「キャンプ・シュワブ」での清掃を主として、フェンスと海岸のゴミ拾い、入り口には大きなテントを張り、基地反対派の方々が見張りをしていた。その人等には話しかけられても、込み入った話し等ははしないように指示を受けました。清掃は全員の力で、約1時間半で完了した。海は遠浅で、今から埋め立てる範囲の説明もあった。

次に、ホテルオーシャンで沖縄と尖閣を守る会代表ジャーナリスト 恵 隆之介先生 講演 テーマ:いま沖縄で起きている大変なこと 先生の新刊書簡に従って講話があり、主として今、沖縄では中国化が進んでいる。この状況は憂慮すべきことである。中国から活動家の資金がどんどん入っている。

9月28日(日) AM8:00 ホテル出発

(車中 手登根安則氏 NPO法人フェンスクリーンプロジェクト代表)清掃 普天間基地に何う 車中で現地の方からいろいろなお話があった

1、動員されている人々 リーダー:3万円 幹部:1万円 動員の人:5千円

こんな状況です。リーダーは本土から、定年になった教職員の人、国家公務員の方がほとんどだと話されていました。

2、基地のフェンスと周辺の掃除

約2時間、日曜日のため、基地の司令官をはじめ家族の方々、小・中学生の方々約50～60人の方々と一緒に清掃。私は小・中学生と一緒にテープをはがし、路上の草取り作業、汗びっしょりになりました。米軍の軍人、家族、その子供たちと一緒に作業。ある面では楽しかった。現地の方が、冷たいもの、水、コーラ、かき氷の機械を持ち込み接待があった。

3、普天間基地内見学と昼食 司令官と一緒に

今話題のオスプレイ 司令官用のもの目の前で見学。オスプレイ普天間で22機管理している。オスプレイの機能と、防空圏の説明を丁寧にいただきました。16機普天間にいた。1機300億円 速度570キロ 操縦するには2年勉強。今、日本から受注している。その引き渡しに間に合うように自衛隊の操縦士を訓練させている



オスプレイの件

28名乗れます。そのうち2名は操縦士です。荷物も5.7トンOKです。和歌山の防災訓練に出動要請あります。

昼食

将校クラスの食堂で食事バイキング方式。中は食堂、図書、談話室、小会議室 20～30人収容食事はお変わり自由サービス係は若い軍人のようであった。中には女性も含まれていた。

普天間基地を13:30分 那覇空港へ
那覇空港発 P M 16:35 関西空港着 P M 18:30

当社には社内活動の一環として3S活動に取り組んでいます。3Sとは、より良い職場環境を実現する為、整理・整頓・清掃を主目的に取り組んでいます。一般には現場(工場)内の安全確保を指すように思われがちですが、事務所内でも3Sを行うことにより、働きやすい環境で効率の良い事務処理ができ、又不要な備品も減らすことで経費の削減にも繋がります。一社のみで行うと問題が見えにくくなり、馴れ合いになる恐れがあります、それを防ぐために、異業種4社で「3SKグループ」という名称のもと各社での3S活動を報告・見学し良い所を自社にフィードバックする様、切磋琢磨しています。この活動も早6年になり、副産物として様々な問題を発見する力や問題を解決する能力を高めることができ、効率的な仕事及び管理が生まれ、営業面でも役立っています。良い面ばかりを列記させて頂きましたが、先ずは実行あるのみです。手じかな所から初めてみてはいかがですか？



整理

整頓
清掃



3S活動

関西営業所 第四営業所 次長 木田吉建

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

経営理念

私たちは、任環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。
私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。

第7回自立研究委員会の発表を終えて

関西第四営業所 所長 木村宗明



本社4階 大会議室



2014年8月13日



10:00~16:00 開催



社員一同 参加

平成26年8月13日(水)10時~16時までサンコー物産(株)本社4階大会議室にて開催され、その後16時半からは焼肉のたるちゃん大正店にて懇親会を催しました。

自身でテーマを考えて実行、そして検証してゆき「考えることを身につける」ことを目標に出発しました。自立研究委員会も第7回を迎えることになりました。グループディスカッション・個人発表(全員)・選抜者のプレゼンテーション・歴史制作の進捗報告・そして表彰式と進行されました。それぞれの設定ハードルの難易度も以前より更に高くなっていて100%達成者が少なくなっていました。それぞれの発表には熱い思いが感じられ、愉しんで発表する姿と傾聴する真摯な姿勢が印象的でした。プレゼンテーションは和木社員と片岡社員が自身の自立研究テーマの取り組み方を詳しく発表。亀野所長は大阪府中小企業家同友会に参加して、学んだ事を発表。細川副社長は外部研修で学んでいる中から、良好な人間関係を築くにはどうすれば良いかをテーマに発表がありました。自身の気づきの大切さを、多方面からの分析を交え説明して頂き、わかり易く学ぶ事が出来ました。そして歴史制作委員会の細川会長より進捗と概要の発表があり、その後表彰式に移りました。今回表彰者は平岩所長・川崎社員・木村所長の3名です。今後も更に上を目指して活動することを誓いました。

懇親会は焼肉のたるちゃん大正店において焼肉を、おなか一杯になるまで頂き大いに盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。そして全員が明日への躍進を誓い閉会になりました。たるちゃんの皆様にはお世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

焼肉たるちゃん大正店で懇親会



サンコー物産焼肉部

関東営業所 濱本 遼



剣道部

鑽己会

代表取締役 副社長 細川 真一

私が剣道を始めたのは中学一年の時に、姉が剣道をやっていた事がきっかけでした。中学、高校、大学と続け、社会人になっても二〜三年程はやっていましたね。しかし、会社に馴染み仕事の内容を理解し忙しくなるにつれ、徐々に剣道から遠のき結局止めてしまっていました。剣道を再開するきっかけになったのは、私の二人の子供たちが剣道をやっていった事と私の勉強仲間が剣道経験者がいた事です。また、当社社屋の4階に小体育館があった事も剣道を再開しやすかった要因の一つですね。本格的に再開したのは、平成25年4月頃だったと思います。現在は仲間も増え、最大12名程度で楽しく稽古を続けており、時には知り合いの子供さんとも一緒に汗を流す事もありますよ。

今回は私の配属先である関東営業所の紹介をさせて頂きます。

現在関東営業所は6名で構成されており、それぞれに担当地域があります。範囲は関東1都6県、山梨、静岡、東北地方と広域に渡りますが、範囲が広いだけにまだまだ未開の地も多く、毎日慌ただしく働かせて頂いています。皆それぞれに得意分野があり、互いの長所を引きだし合いながら日々お客様へのお役立ち活動を行っています。

さて、話は変わり私達には共通の楽しみが一つあります。それは「サンコー物産焼肉部」という活動です。

売上達成をした月のご褒美は本当に達成感があり、翌日以降のモチベーション向上にも繋がります。

次の活動の日を心から楽しむ為に、今日も一日頑張ります！

脳梗塞発症から現在に至るまでの経験及び進展

大阪本社 近藤 義之

脳梗塞発症してから、約3年半となります。

前回のお話の時に比べ、現在は約50メートル程ですがリハビリの効果もあり足の装具・杖無しで歩行できる様になりました。自分自身にも歩行には希望が見えてきました。

しかし、右腕の方は、まだ動きは鈍く動かす可動域で痛みも伴う状態です。リハビリでは腕や指の動作も練習していますが、特に何か手先を細かく使う趣味はないですかと聞かれたので「子供の頃から模型作りや釣りが好きです。」と返答したところ、模型作りはリハビリに効果的なので、出来るだけして下さいと言われ、時間のある時に製作しています。

釣りの方は、危険がともなう恐れがあるので、練習を積んで将来的な目標として励んで行きましょうと言ってくれました。こういう病気になること、今まで出来ていた事や自分自信の趣味が出来なくなると悲観する人が多くなりませんが、現実と受け止め前向きに進んで行かないとダメではないかと思えます。入院中は、同じ症状の患者さんとよく話をしていました。自分も含め将来的な不安を持っていたのも確かでお互いで慰め合うのが日課となっていました。自分以外には、ほとんど高齢者の方が大半だった為、話が合わず大変でしたが、日が立つにつれて、自分のリハビリ姿をみて諦めてられないと言われ、一緒に自主トレに励んでくれる方もいました。趣味の事が出来無いか何とも出来ない、同じ病気の人がよく言っていました。が、何もせず諦めるよりも、出来る限りの事をするのが良いのではないかと行って自分にも鼓舞していました。リハビリも辛く、苦しいですが少しでも可能性が有るなら望みを託しても良いのではないかと思います。

以上、私の経験の話させて頂きました。次回書く時は、今よりも進展している事を書く様にしたいと思います。

因みに模型作りの方は今、ある程度物であれば昔に比べると遅いですが、何とか試行錯誤して完成させてます。また、少しずつレベルを上げ難しい模型にも挑戦して行きたいと思えます。私が今回思った事は、諦めたらそこで終わり、諦めると何もかもが変わらないので、強い精神を持ち続ける事が大事だと思います。

編集後記

本社総務部

清秋の候、皆様におかれましては益々々健勝のこととお慶び申し上げます。

夏の終わりには、広島で起きた土砂災害、御嶽山の噴火と、痛ましい自然災害が続きました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。さて、皆様にお届けしておりますこの「サンコー未来夢通信」ですが、今号よりプチ・リニューアルいたしました。これからも皆様楽しんでいただけますよう、より一層努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。



私の提言

景気動向に影響されない会社をつくらう！好・不景気に関係なく、伸び続ける会社を目指しましょう！九州営業所 下山弘美